

リフォーム用玄関ドア スピーディ

リベールⅡ22・20,ユピテルⅢ22・20,アフェクト



施工説明書

CONTENTS

■施工上の注意および梱包明細	2
■現場施工までの準備	3
■納まり図	
・木枠納まり	4
・アルミ枠納まり	5
■部材現場加工	6
■部材切断寸法表	7
・4.5尺らんま付片袖タイプ	7
・6尺らんま付両袖タイプ	8
■製品の組立てと取付け	9
・枠ビスセット一覧表	9
・枠の組立て	10
・らんまガラスの建て込み	12
・製品の取付け	13
・新しい枠の取付け	14
・ドア本体の吊り込み	16
・袖パネルの組立て	17
・袖パネルの建て込み	18
・建付け調整	19
・内額縁の取付け	21
・外額縁小の取付け	22
・外額縁大の取付け	23
・下枠補強アングルの取付け	25
■取付可否のチェック	26

施工上の注意および梱包明細

■本説明書で使用されているマークには、以下の意味があります。

-  **注意** 取扱いを誤ると、使用者が傷害を負う危険や物的損害の発生が想定されることを示しています。
-  **お願い** 「必ず行なっていただく事」を示しています。

 **注意**

- ・作業を開始される前に、本説明書を必ずお読みください。
- ・組立は所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。
締め付け不良は漏水や事故の原因になります。

●梱包明細

枠タイプ		内容物	数量
らんま無し 親子	1	上枠	1
	2	下枠	1
	3	縦枠	2
	4	溝塞ぎカバー	7
	5	内額縁	3
	6	ドアクローザー	1
	7	ビスセット	1

枠タイプ		内容物	数量
らんま付き 親子	1	上枠	1
	2	下枠	1
	3	縦枠	2
	4	無目	1
	5	押し縁	3
	6	溝塞ぎカバー	8
	7	内額縁	3
	8	ドアクローザー	1
	9	ビスセット	1
	10	後付ビードセット	1

枠タイプ		内容物	数量
らんま付き 片袖	1	上枠	1
	2	下枠	1
	3	縦枠	2
	4	無目	1
	5	方立	1
	6	方立カバー	2
	7	押し縁	3
	8	溝塞ぎカバー	8
	9	内額縁	3
	10	ドアクローザー	1
	11	ビスセット	1
	12	後付ビードセット	1

枠タイプ		内容物	数量
らんま付き 両袖	1	上枠	1
	2	下枠	1
	3	縦枠	2
	4	無目	1
	5	方立	2
	6	方立カバー	4
	7	押し縁	3
	8	溝塞ぎカバー	8
	9	内額縁	3
	10	ドアクローザー	1
	11	ビスセット	1
	12	後付ビードセット	1

現場施工までの準備

1. 取付可否の調査及び既設枠開口寸法の測定

※巻末の「取付可否のチェック」に従い、既設玄関への取付可否を調査します。

①既設枠の断面形状を確認します。

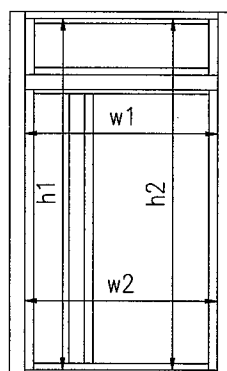
②「取付可否のチェック」を参考に既設開口枠の $w1 \cdot 2$ 、 $h1 \cdot 2$ を測定し、小さい方を既設枠開口寸法とします。

※右図のように既設枠にゆがみがある場合は水平垂直での寸法を測定してください。

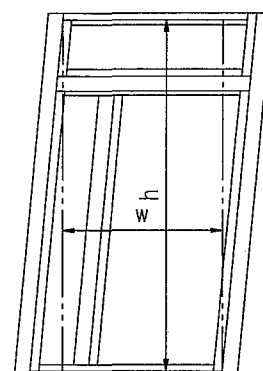
③既設枠開口寸法より5mm程小さく製品基本寸法を設定します。

※製品基本寸法が切詰め範囲内である事、特寸範囲内である事を確認してください。

既設枠



既設枠(ゆがみのある場合)



2. 枠のタイプ、本体のデザイン等の決定

取付可能であれば製品基本寸法を設定し、下記項目を決定します。

①枠のタイプ(らんま無し・らんま付き・親子・袖付き)

②枠の仕様(右勝手・左勝手・製品色)

③本体子扉の仕様(デザイン・製品色)

④工事費の見積り

⑤工事日

※本製品のらんま袖付きタイプはらんま、袖部の切詰めが可能ですが、ドア本体、子扉の切詰めはできません。

※らんま無し親子、らんま付き親子の枠は特寸で発注してください。

※らんま付タイプでの本体WH寸法は規格サイズのみとなります。

3. 製品の切詰め(らんま袖付タイプのみ)

※現場での納まり上、切詰めが必要な場合に製品の切詰めを行ないます。

①部材切断寸法表で切詰め方向、長さを確認し、製品を切詰めます。

②縦枠には端部加工が必要です。

製品切詰め限界寸法

	らんま付き	
		4.5尺片袖
H	2,202mm以上	
W	1,120mm	1,401mm

4. ガラス・別売り部品の手配

①部材切断寸法表にてガラス寸法を算出します。

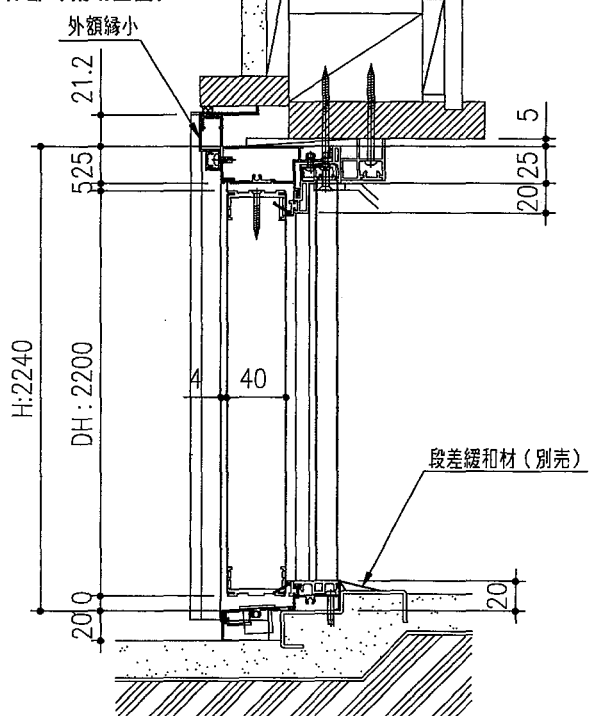
②工事日に合わせてガラス・別売り部品を手配します。

納まり図

●木枠納まり

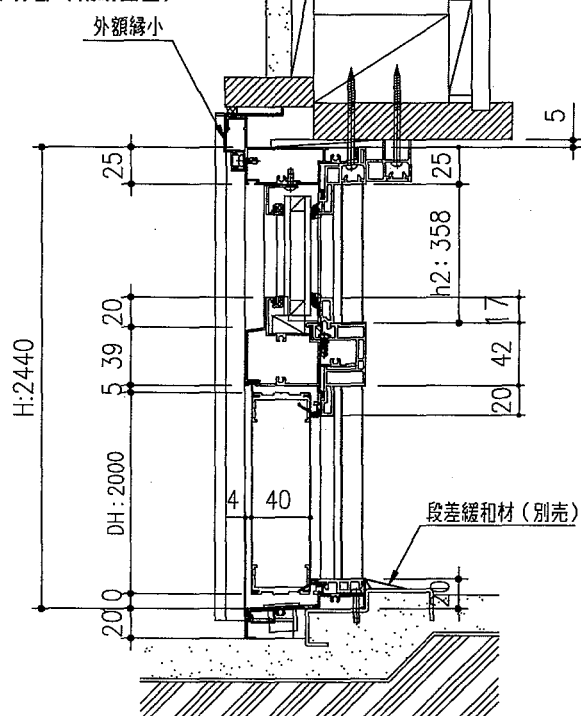
[ランマ無し]

本体部 (縦断面図)

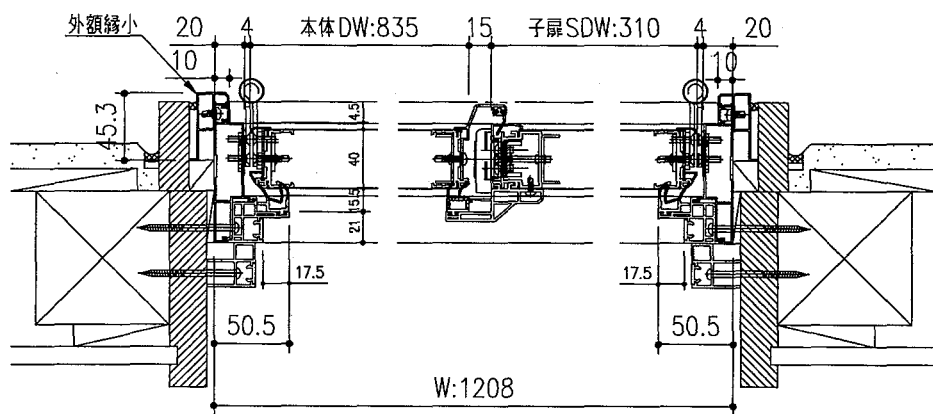


[ランマ付き]

本体部 (縦断面図)

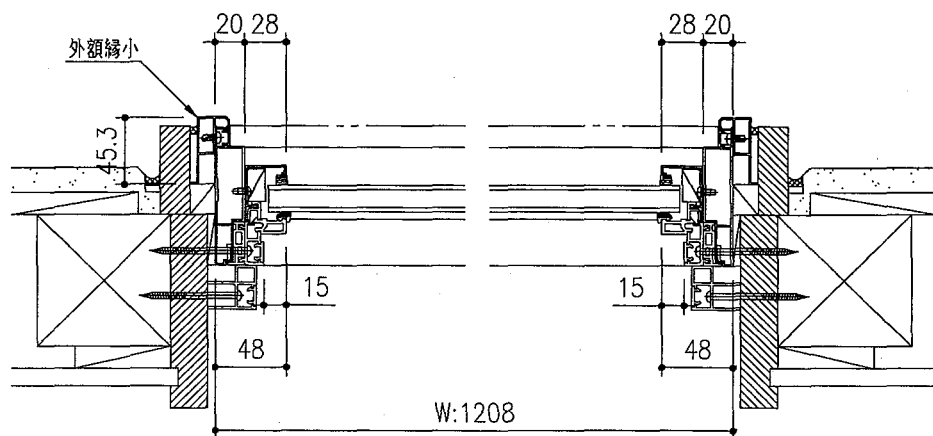


親子 (横断面図)



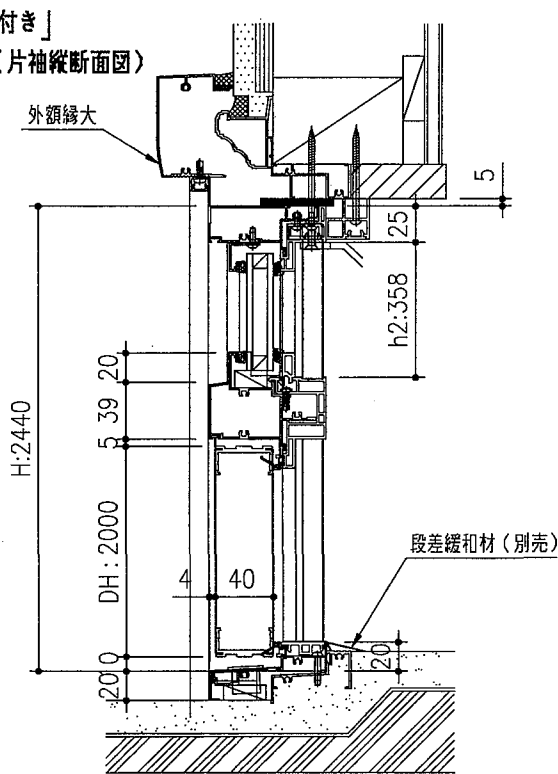
[ランマ付き]

ランマ部 (横断面図)

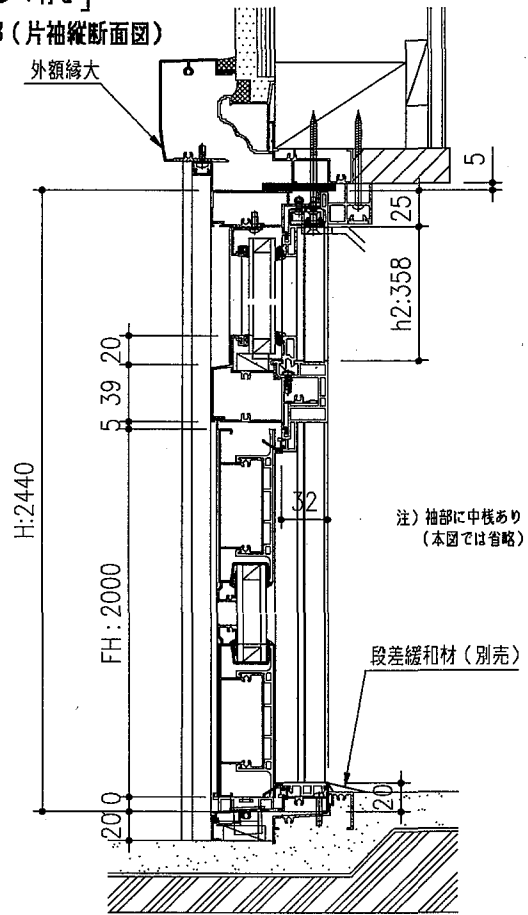


●アルミ枠納まり

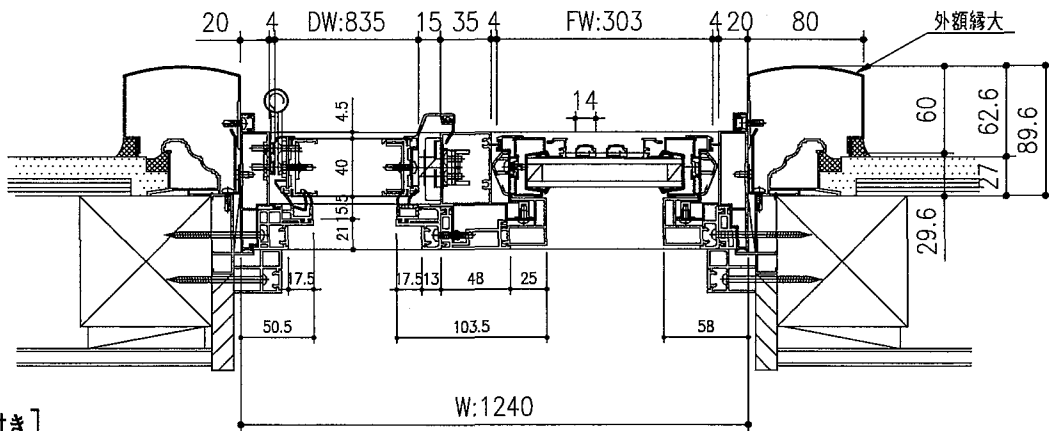
[ランマ付き]
本体部 (片袖縦断面図)



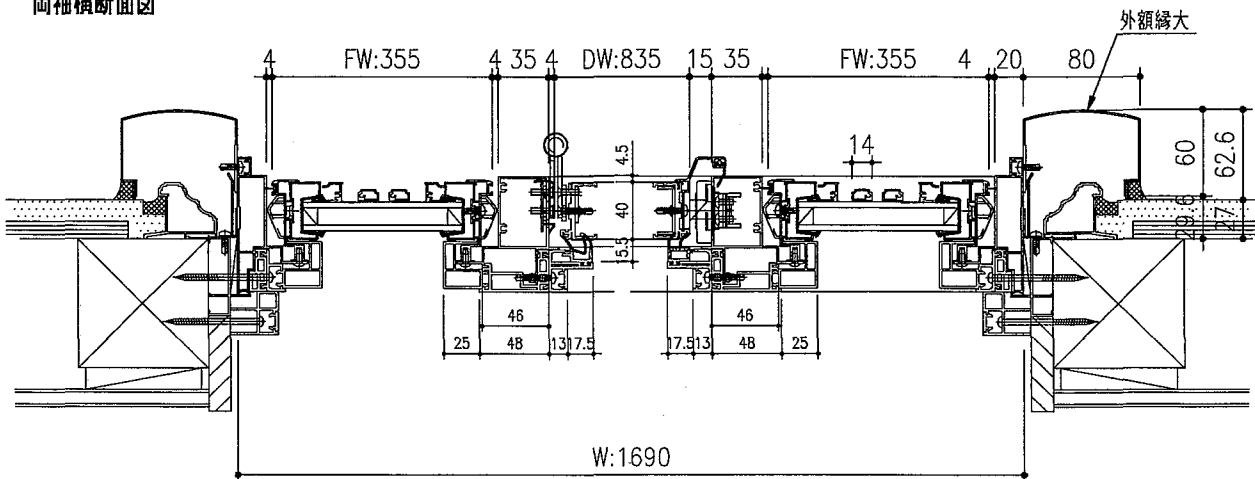
[ランマ付き]
袖部 (片袖縦断面図)



[ランマ付き]
片袖横断面図



[ランマ付き]
両袖横断面図



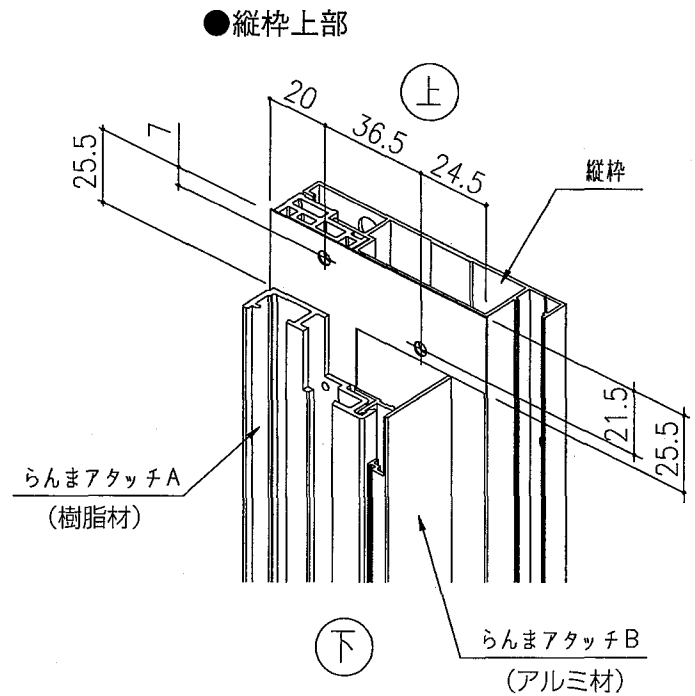
部材現場加工

●縦枠上部の切欠き加工

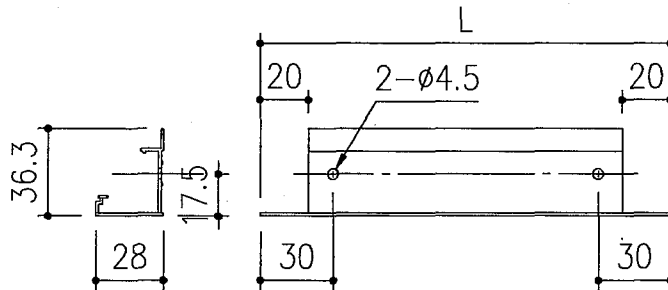
①上端部はらんまアタッチA、Bを
とりはずしてから縦枠の上部を
切断してください。
切断後、指定の孔を明けてください。

②とりはずしたらんまアタッチAは
下端を切断した後、右図の位置に
ビスで取り付けなおしてください。

③らんまアタッチBは下図の端部加工
を施してから右図のようにビスで
取り付けなおしてください。



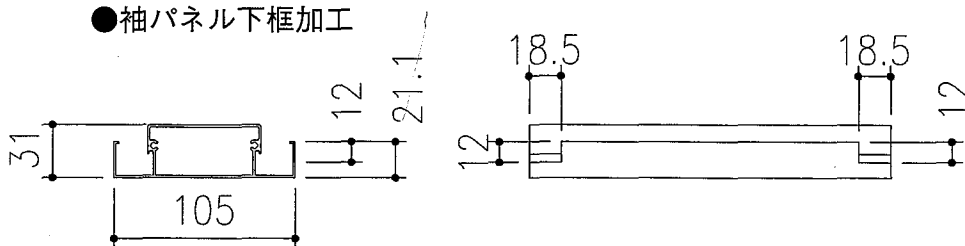
●らんまアタッチB加工



●袖パネルSG用下框

別梱包の袖パネルでシングルガラス用パネルの場合、
下框のみ、切断した後に切欠きを施す必要があります。(下図参照)

●袖パネル下框加工



部材切断寸法表 4.5尺らんま付片袖タイプ

●現場寸法表

既設枠開口寸法				リフォームドア「スピーディ」		切詰め限界寸法
h	h1	H=		基本寸法	基本寸法公式	4.5尺らんま付片袖 H:2,202mm以上
	h2			h (小さい方) -5		
w	w1	W=		w (小さい方) -5	W:1,120mm以上	
	w2					

※既設枠開口寸法はh・wとも各2ヶ所測定し、小さい方の寸法で決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より5mm程度小さくしてください。

●各部材切断寸法表

◆枠

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
縦部材	縦枠		H+20	上部	1本	○
	吊元側縦枠		H+20	上部	1本	○
	袖側縦枠		H+20	上部	1本	○
	方立	2014	2014	切詰め不可	1本	×
	内額縁		現場合わせ	上部	2本	△
	溝カバー (縦枠用)	1994	1994	切詰め不可	2本	×
	溝カバー (らんま用)		H-2081.5	指定無し	2本	△
	溝カバー (内額縁用)		現場合わせ	指定無し	2本	△
	※らんまアタッチA		H-2082.5	下部	2本	△
※らんまアタッチB		H-2080	下部	2本	○	
押縁		H-2119.5	指定無し	2本	△	
横部材	上枠		W-41	袖側	1本	△
	無目		W-41	袖側	1本	△
	下枠		W-41	袖側	1本	△
	内額縁		現場合わせ	両端均等	1本	△
	溝カバー (上枠用)		W-63	指定無し	1本	△
	溝カバー (内額縁用)		現場合わせ	指定無し	1本	△

◆袖パネル

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
縦部材	縦枠	2000	2000	切詰め不可	2本	×
	袖縦アタッチ	2000	2000	切詰め不可	2本	×
横部材	上框		W-966.5	指定無し	1本	△
	中棧		W-966.5	指定無し	1本	△
	下框		W-966.5	指定無し	1本	※○

※シングルガラス用袖パネルの場合は下框に加工が必要です。(ペアガラス用は不要)

◆外額縁

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
外額縁大	外額縁大 (縦)		現場合わせ	下部	2本	△
	溝カバー (縦)		現場合わせ	指定無し	2本	△
	外額縁大 (横)		W	指定無し	1本	△
	溝カバー (横)		W-60	指定無し	1本	△
外額縁小	外額縁小 (縦)		現場合わせ	下部	2本	△
	溝カバー (縦)		現場合わせ	指定無し	2本	△
	外額縁小 (横)		W-20	両端均等	1本	△
	溝カバー (横)		W-60	指定無し	1本	△

◆袖化粧格子

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
化粧格子	フレーム棧 (上下)		W-1032	両端均等	4本	△
	フレーム棧 (縦)	839.5	839.5	切詰め不可	4本	×
	格子	813.5	813.5	切詰め不可	6本	×

◆ガラス寸法表 (ペアガラス)

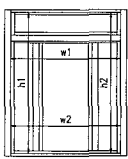
		寸法	寸法計算式	使用枚数
らんま	ガラスH		H-2095	1枚
	ガラスW		W-72	
袖	ガラスH	866	866	2枚
	ガラスW		W-979	

◆ガラス寸法表 (単板)

		寸法	寸法計算式	使用枚数
らんま	ガラスH		H-2095	1枚
	ガラスW		W-72	
袖	ガラスH	856	856	2枚
	ガラスW		W-989	

部材切断寸法表 6尺らんま付両袖タイプ

●現場寸法表

既設枠開口寸法				リフォームドア「スピーディ」		切詰め限界寸法
h	h1	h2		基本寸法	基本寸法公式	6尺らんま付片袖
			H=	h (小さい方) -5	H:2,202mm以上	
w	w1	w2	W=	w (小さい方) -5	W:1,401mm以上	

※既設枠開口寸法はh・wとも各2ヶ所測定し、小さい方の寸法で決めます。

※製品基本寸法は既設枠開口寸法より5mm程度小さくしてください。

●各部材切断寸法表

◆枠

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無	
縦部材	縦枠	吊元側縦枠	H+20	上部	1本	○	
		袖側縦枠	H+20	上部	1本	○	
	方立	戸先側方立	2014	2014	切詰め不可	2本	×
	内額縁			現場合わせ	上部	2本	△
	溝カバー (縦枠用)	1994	1994		切詰め不可	2本	×
	溝カバー (らんま用)		H-2081.5		指定無し	2本	△
	溝カバー (内額縁用)		現場合わせ		指定無し	2本	△
	※らんまアタッチA		H-2082.5		下部	2本	△
	※らんまアタッチB		H-2080		下部	2本	○
横部材	押縁		H-2119.5		指定無し	2本	△
	上枠		W-41		両端均等	1本	△
	無目		W-41		両端均等	1本	△
	下枠		W-41		両端均等	1本	△
	内額縁		現場合わせ		両端均等	1本	△
	溝カバー (上枠用)		W-63		指定無し	1本	△
	溝カバー (内額縁用)		現場合わせ		指定無し	1本	△

◆袖パネル

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
縦部材	縦枠	2000	2000	切詰め不可	4本	×
	袖縦アタッチ	2000	2000	切詰め不可	4本	×
横部材	上框		$(W-1039)/2$	指定無し	2本	△
	中棧		$(W-1039)/2$	指定無し	2本	△
	下框		$(W-1039)/2$	指定無し	2本	※○

※シングルガラス用袖パネルの場合は下框に加工が必要です。(ペアガラス用は不要)

◆外額縁

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
外額縁大	外額縁大 (縦)		現場合わせ	下部	2本	△
	溝カバー (縦)		現場合わせ	指定無し	2本	△
	外額縁大 (横)		W	指定無し	1本	△
	溝カバー (横)		W-60	指定無し	1本	△
外額縁小	外額縁小 (縦)		現場合わせ	下部	2本	△
	溝カバー (縦)		現場合わせ	指定無し	2本	△
	外額縁小 (横)		W-20	両端均等	1本	△
	溝カバー (横)		W-60	指定無し	1本	△

◆袖化粧格子

○…加工あり △…切断のみ ×…加工不要

		切断寸法	切断寸法計算式	切詰め方向	使用部材本数	加工有無
化粧格子	フレーム棧 (上下)		$(W-1170)/2$	両端均等	8本	△
	フレーム棧 (縦)	839.5	839.5	切詰め不可	8本	×
	格子	813.5	813.5	切詰め不可	16本	×

◆ガラス寸法表 (ペアガラス)

		寸法	寸法計算式	使用枚数
らんま	ガラスH		H-2095	1枚
	ガラスW		W-72	
袖	ガラスH	866	866	4枚
	ガラスW		$(W-1064)/2$	

◆ガラス寸法表 (単板)

		寸法	寸法計算式	使用枚数
らんま	ガラスH		H-2095	1枚
	ガラスW		W-72	
袖	ガラスH	856	856	4枚
	ガラスW		$(W-1084)/2$	

製品の組立てと取付け

⚠ 注意

- ・ 枠の組立てビスは最後まで締め付け、ゆるみ、がたつきのないことを確認してください。
- ・ 丁番取付けビスは最後まで締め付けてください。扉脱落の原因になります。
- ・ 丁番取付けビスは奥まで締め付けて下さい。扉脱落の原因になります。

● 枠ビスセット一覧表

枠組立用

名称	姿図
① なべタッピン2種 φ4x35	
② なべタッピン2種 φ4x55	
③ 縦枠固定ブラケット 取付ビス セルフドリリングネジ φ4x13	
④ 縦枠固定ブラケット (EB-2169)	
⑤ 上枠ジョイントピース (J-1230)	
⑥ 孔塞ぎ材 (C-124)	無目8φ孔用

枠取付用

名称	姿図
① 丸木ネジ φ4.1x63	
② 下枠固定ネジ タッピン3種φ4x20トラス	

丁番用

名称	姿図
① 丁番取付用ネジ 子ネジM4x20(皿)	
② 丁番高さ調整リング	

袖パネル取付用

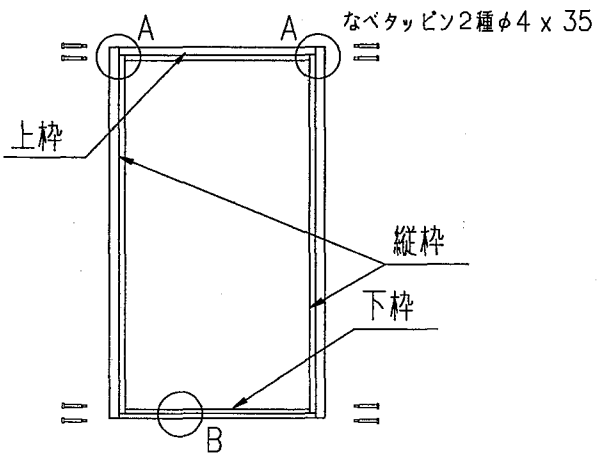
名称	姿図
① 袖パネル取付用ビス タッピン3種4x10トラス	

製品の組立てと取付け

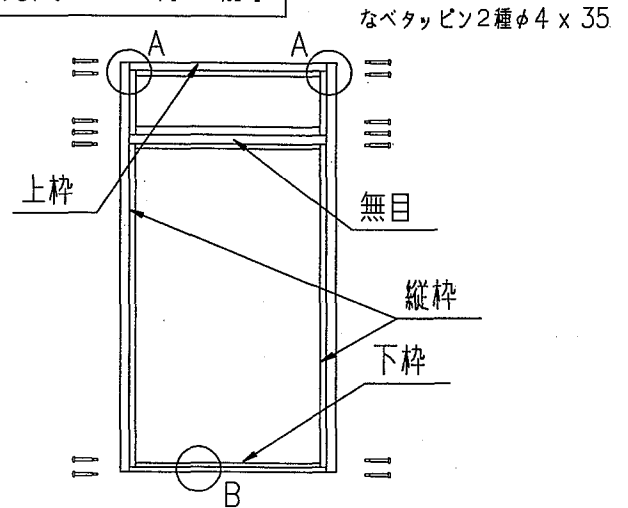
● 枠の組立て

・ 図に従って枠を組み立ててください。

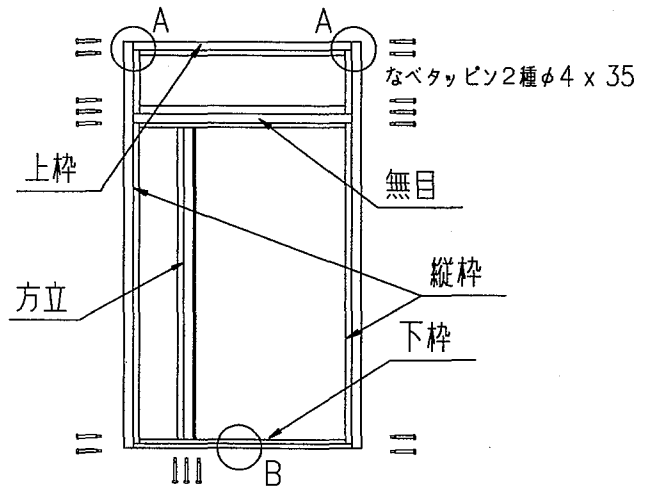
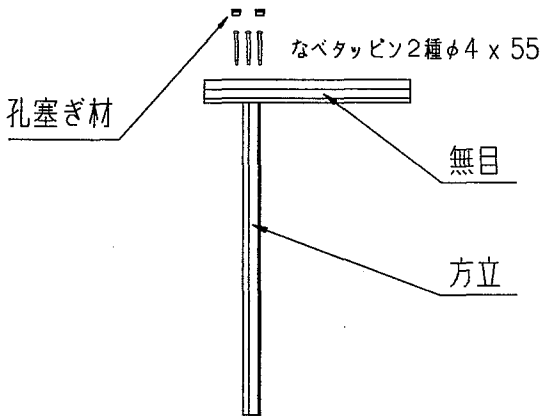
4.5尺親子



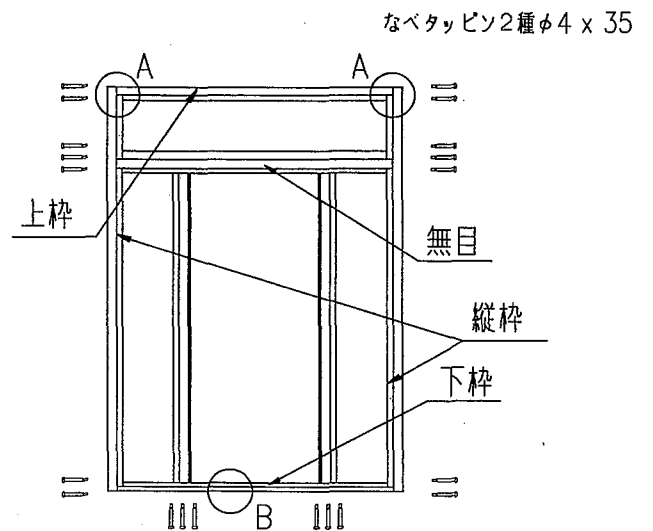
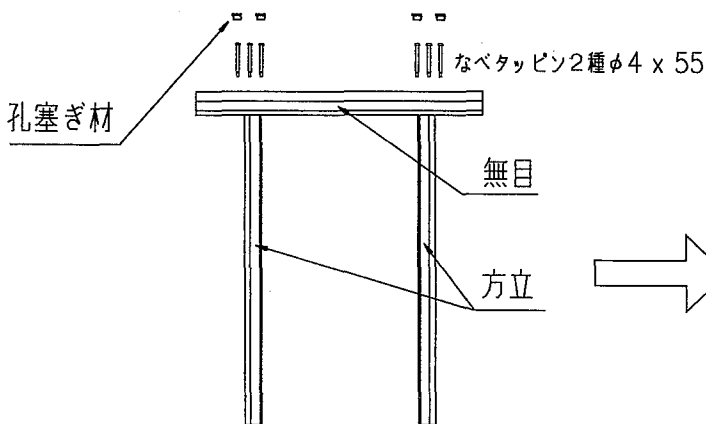
4.5尺らんま付き親子



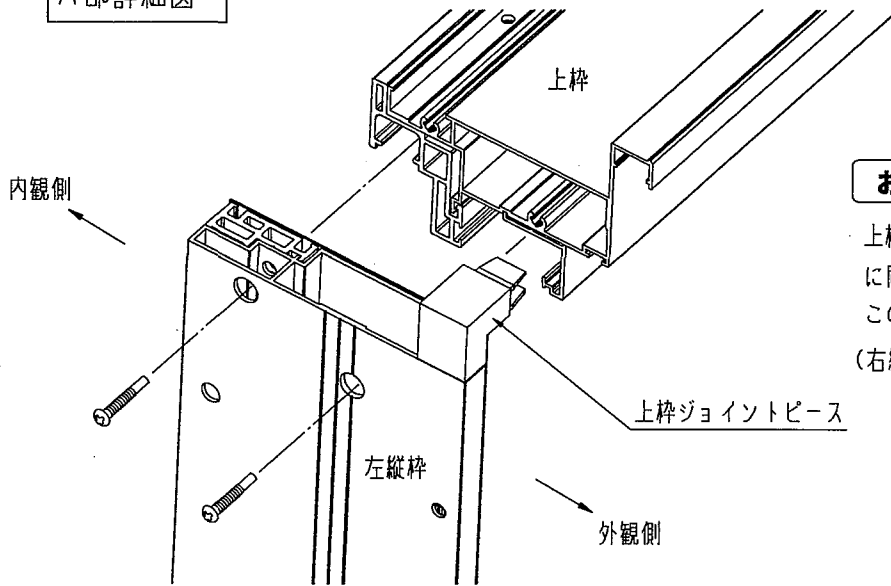
4.5尺らんま付き片袖枠



6尺らんま付き両袖枠



A部詳細図

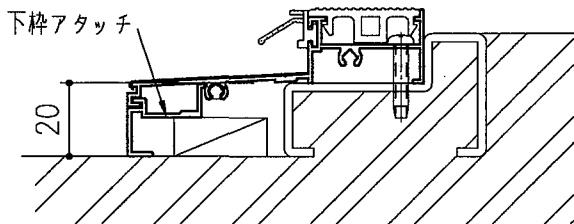


お願い

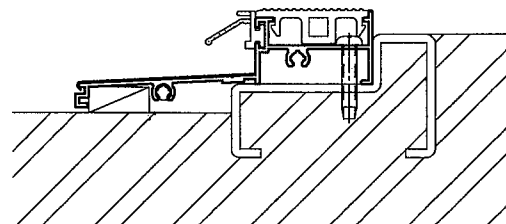
上枠ジョイントピースはビスセット
に同梱されています。
この部品は必ず取りつけてください。
(右縦枠も同様に取りつけてください。)

B部詳細図

・既存下枠と土間との段差が20mmを超える
場合、下枠アタッチを取り付けてください。



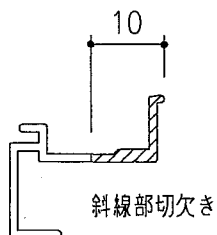
・既存下枠と土間との段差が20mm以内の場合、
下枠アタッチを取り付けずに組み立ててください。



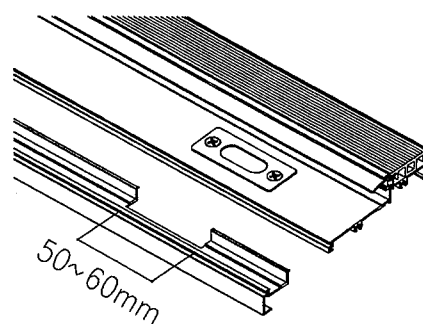
※袖付の場合は方立と下枠を固定した後に
下枠アタッチを取り付けてください。

お願い

親子ドアに下枠アタッチを取り付ける場合は前もって
フランス落とし受け金具付近の部分を切欠いてください。



下枠アタッチ断面図



製品の組立てと取付け

●らんまガラスの建て込み

- ※ らんまガラスはPGの場合、18mm厚から22mm厚まで対応、SGの場合は4mm厚から6.8mm厚まで対応できます。
- 下表にしたがい、先付・後付各ビードを使用してガラスを入れてください。
- ※ らんまガラスの寸法は部材切断寸法表のページを御覧ください。

ペアガラスのビードの使い方

使用ガラス厚 (PG組合例)	ガラス納まり図	先付ビード (工場取付済)	後付ビード (同梱部品)
18m/m (3+A12+3)		そのまま使用	そのまま使用
19m/m (3+A12+4)		そのまま使用	1枚剥ぎ取り
20m/m (3+A12+5)		そのまま使用	2枚剥ぎ取り
21m/m (4+A12+5)		1枚剥ぎ取り	1枚剥ぎ取り
22m/m (3+A12+6.8)		1枚剥ぎ取り	2枚剥ぎ取り

注意 *厚さ21mm以上のガラスを使用する場合はガラスを入れる前に先付ビードを剥ってください。

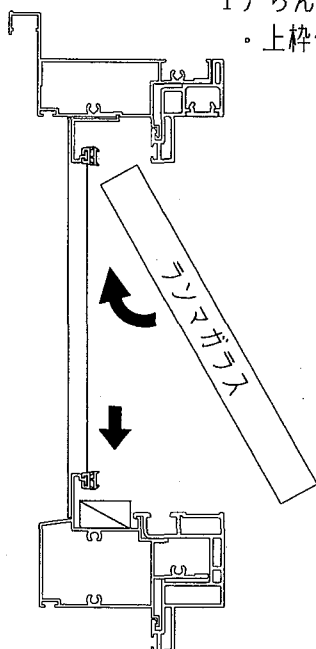
単板ガラスのビードの使い方

※単板ガラスを入れる場合は別売の「SGアタッチ」をご使用ください。

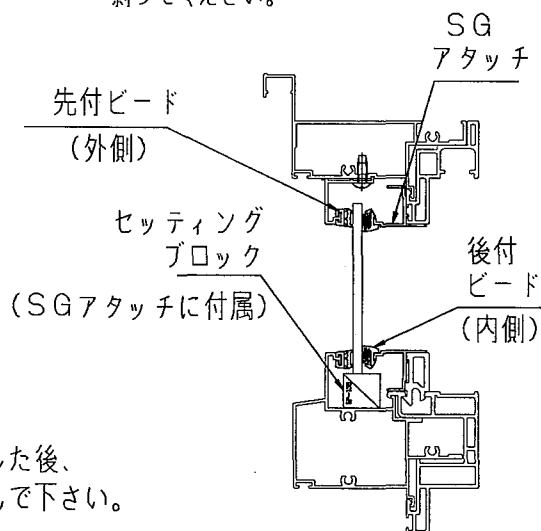
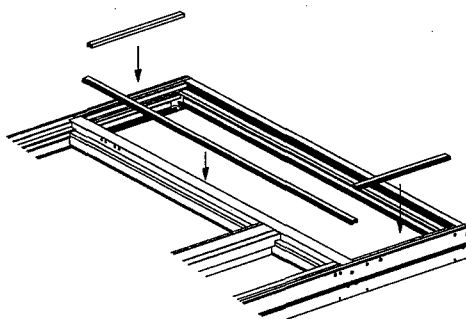
使用ガラス厚	ガラス納まり図	先付ビード (工場取付済)	後付ビード (同梱部品)
4m/m		そのまま使用	そのまま使用
5m/m		そのまま使用	1枚剥ぎ取り
6m/m		そのまま使用	2枚剥ぎ取り
6.8m/m		1枚剥ぎ取り	1枚剥ぎ取り

注意 *厚さ6.8mm以上のガラスを使用する場合はガラスを入れる前に先付ビードを剥ってください。

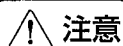
- 1) らんまガラスの建て込み
・上枠側から先に入れて下さい。



- 2) 押縁のセット
・下の押縁をセットした後、縦の押縁を嵌め込んで下さい。



●製品の取付け



注意

- ・本製品は土間納まり専用です。外壁工事を伴わない施工の場合は、指定の個所にシーリング材を充填してください。
- ・躯体に取り付ける際はねじかかり寸法は必ず20mm以上にしてください。強度の不足による本体・枠の脱落の原因になります。
- ・丁番取付ビスを全部はずさないでください。ドア本体が脱落します。
- ・現場施工に入る前に、製品基本寸法が現場とあっている事を必ず確認してください。
- ・外額縁、内額縁は現場の納まりに合わせて切り詰めをお願いします。

●使用工具一覧

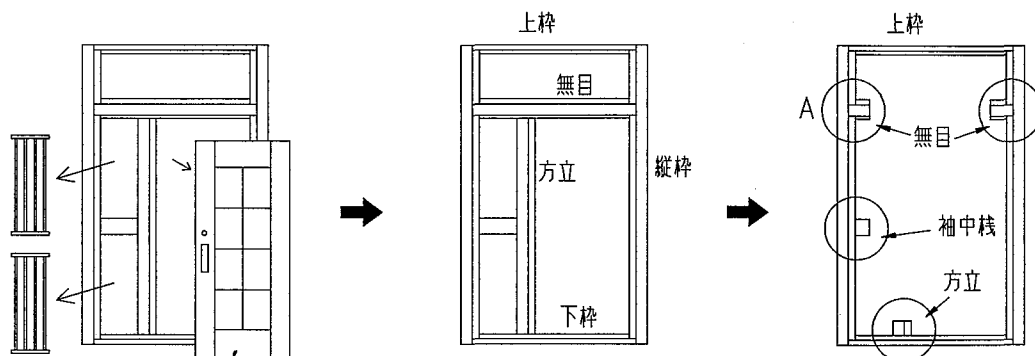
- ・電動ドリル、電動ドライバー
- ・くいぎり
- ・ペンチ
- ・プラス、マイナスドライバー
- ・鉄のこ
- ・ディスクグラインダー（サンダー）
- ・丸ノコ（アルミ部材、樹脂部材切断用）
- ・カッターナイフ
- ・コーキングガン
- ・コーキングへら

●既設ドアの取り外し

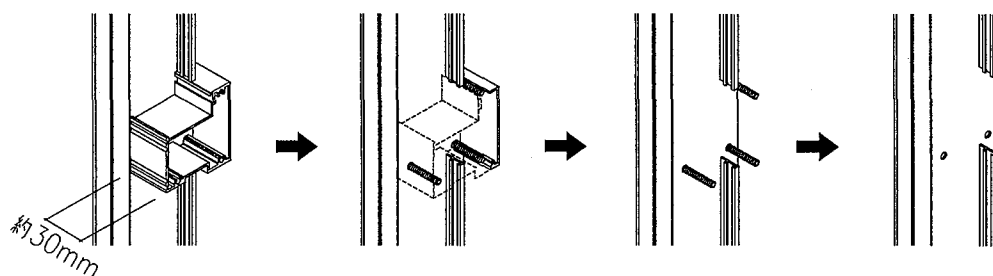
- ①既設のドア本体、袖飾り、子扉、ガラスを取り外します。
- ②無目、方立等の部材を切断して取り除き、外枠のみ（上枠、下枠、縦枠）残します。

既設枠がアルミ枠の場合

- ①無目・方立等は縦枠・下枠の連結部から約30mm残して切り取ります。
- ②切残した部材はタッピングホール付近を分割してとりやすい状態にして外します。
- ③外枠に残ったネジをくいぎり等で切断します。

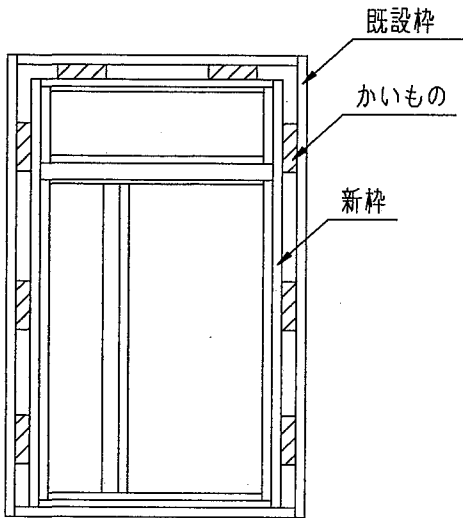


A部詳細

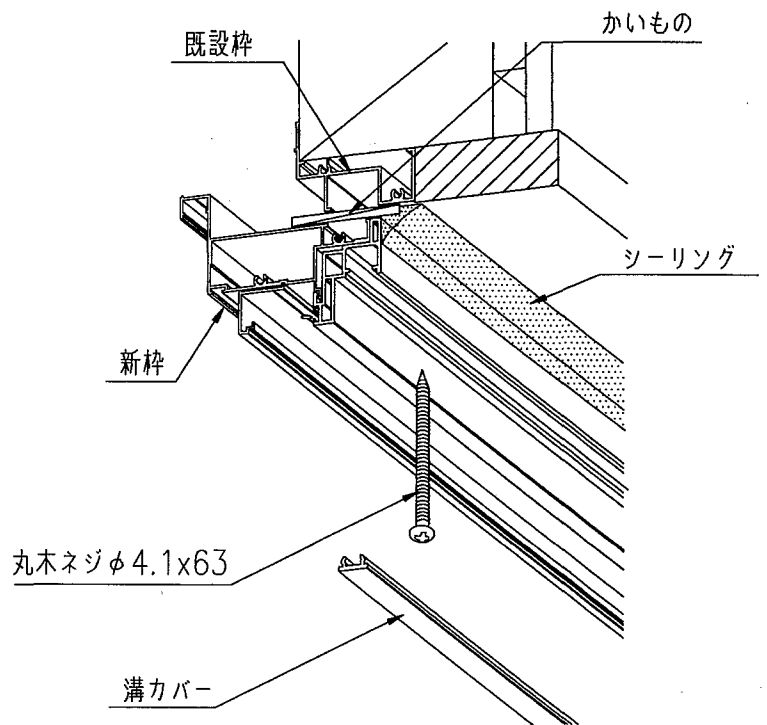


製品の組立てと取付け

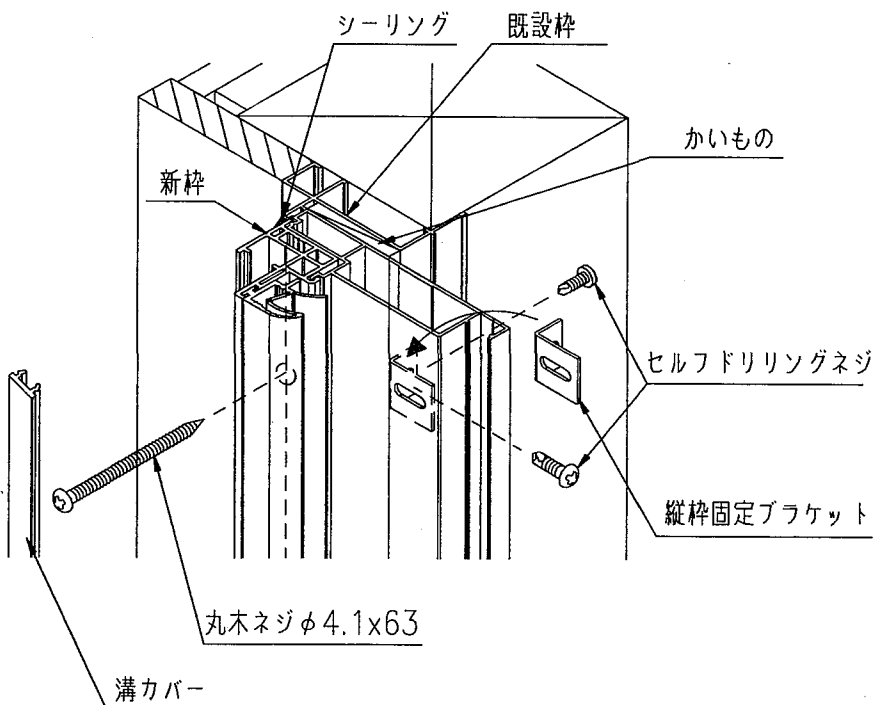
●新しい枠の取付け



上枠側

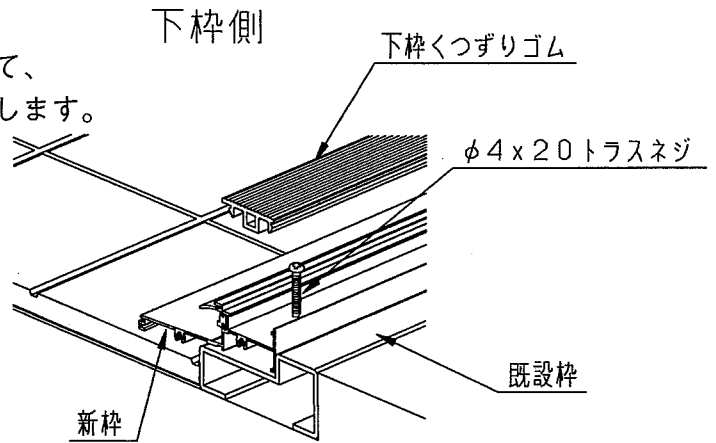


縦枠側

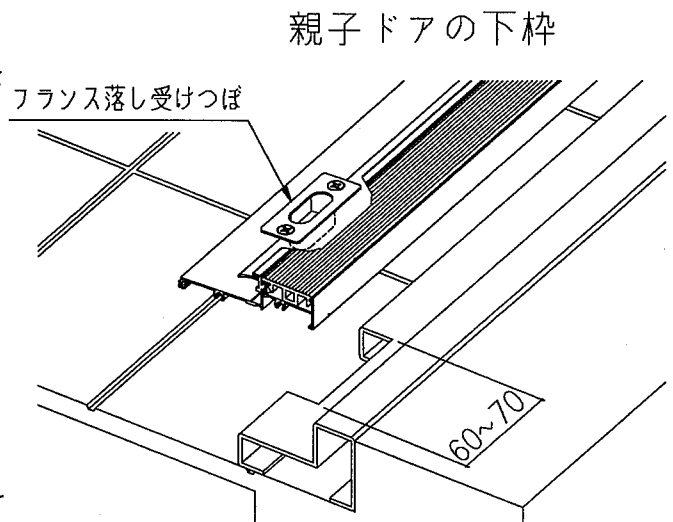


- ① 新枠の水平垂直を正しく出します。既設枠との隙間にはかいもの（ベニヤ板等のスペーサー）を入れてください。
- ② 取付け位置決定後、新枠の取付け孔より、既設枠と躯体にφ3の下穴をあけます。
- ③ 新枠の吊元側から順に付属の木ビスで取り付けます。
- ④ 縦枠外側から「縦枠固定ブラケット」を片側3ヶ所ずつセルフドリリングネジで固定します。（丁番に近い位置に取り付けてください。）
- ⑤ 室内側の木ビスをうった上から溝カバーを嵌め込みます。
- ⑥ 既設枠と新枠の接続部にシーリング材を充てんします。

- ⑦ 下枠のくつぎりゴムを一旦取り外し、下枠の取付け孔から既設枠にφ3.5の下穴をあけて、タッピン3種φ4×20トラス頭ビスで固定します。



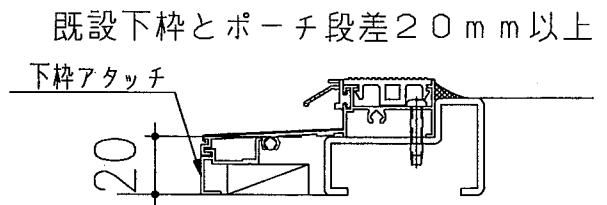
- ⑧ 親子ドアではフランス落とし受けつぼが既設枠に当たります。この場合は既設下枠に切欠きを右図のように施す必要があります。



- ⑨ 新しい下枠とポーチの隙間には現場に合わせてかいもの（スペーサー）を入れてください。フランス落とし受けつぼの両脇は強度を確保するため、必ず入れるようにしてください。

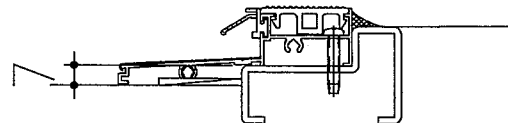
- ⑩ 既設下枠とポーチの段差について

1. 段差20mm以上、45mm未満のときは下枠アタッチを取り付けてください。



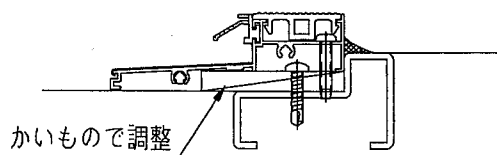
2. 段差7mm以上、20mm未満下枠アタッチは付けないでください。

既設下枠とポーチ段差7mm~20mm未満



3. 段差0mm~7mm未満
新しい下枠の下にかいものを入れて調整してください。

既設下枠とポーチ段差0mm~7mm未満



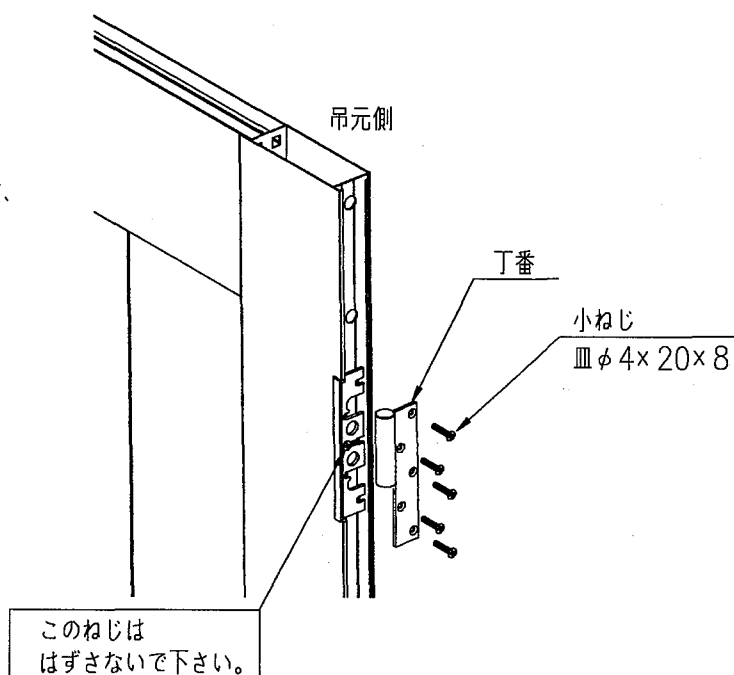
製品の組立てと取付け

●ドア本体の吊り込み

丁番の取付

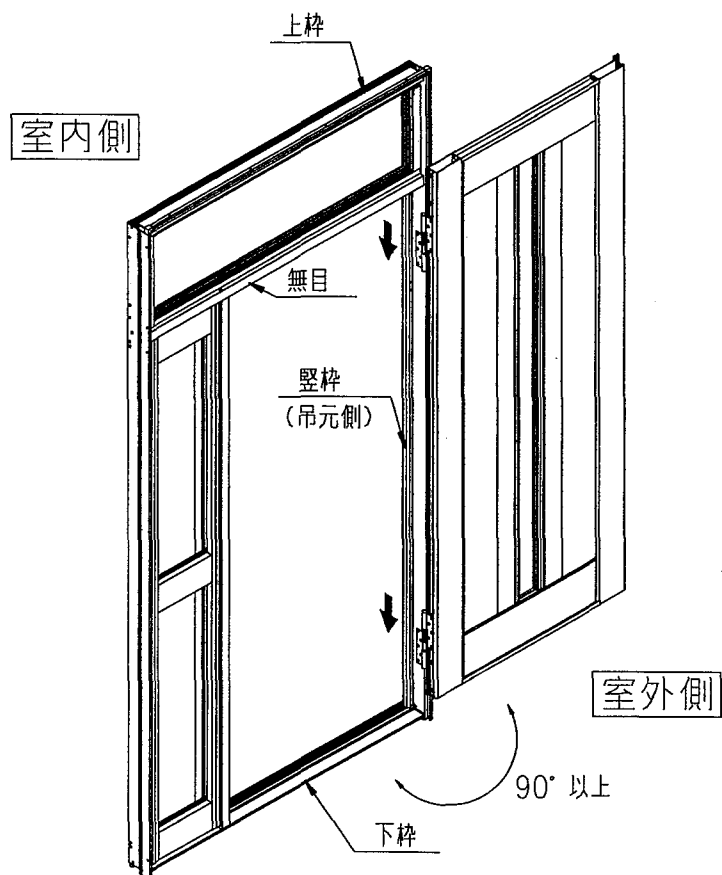
縦枠に付いている丁番の本体側をはずして
本体にビス止めして下さい。

(らんま無し親子タイプは上部用1枚、下部用2枚、
らんま付きタイプは上部用1枚、下部用1枚)



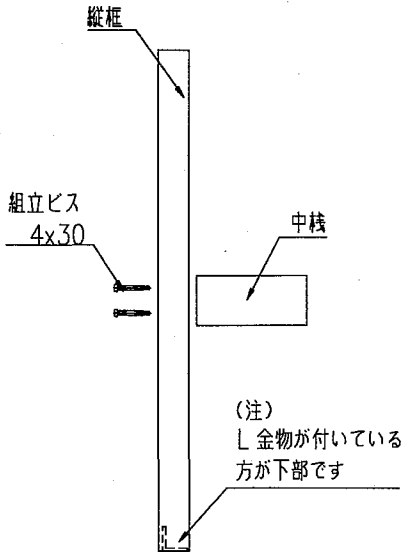
本体の吊り込み

枠に対して本体を90°以上開いた状態で
本体を吊り込んでください。



●袖パネルの組立て ※親子ドア、らんま付き親子ドアには不要です。

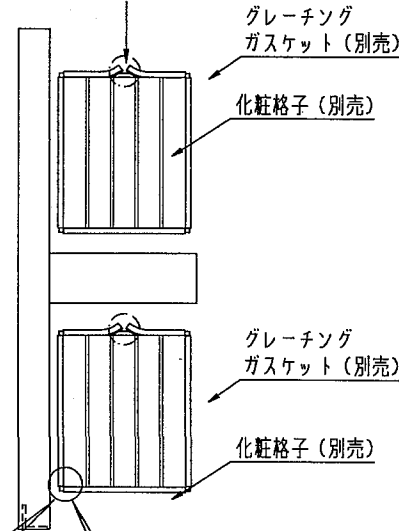
(1) 中棧の取付



(2) ガラスへの組み込み

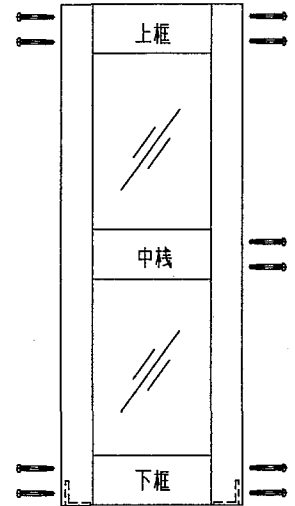
扉の組立時に框に組み込んで下さい。

お願い グレチャンの切れ目が上部中央になる様に組み込んで下さい。



(3) 組立

上框、下框、中棧は樹脂材の面が内観になります。



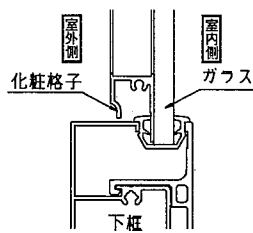
化粧格子を取付る場合

単板の場合
(複窓ガラスの場合も同じ取付方です)

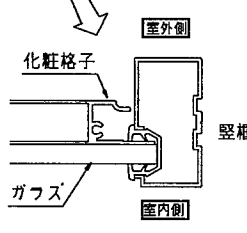
お願い

パネルの組立後は組み込みは
できません。パネルの組立時
に組み込んで下さい。

縦断面拡大図



横断面拡大図

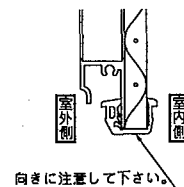


・使用するグレチャンについて
グレチャンは(使用するガラス厚+1mm)
の厚さ設定のものをご使用下さい。
(カタログを参照して下さい。)

お願い

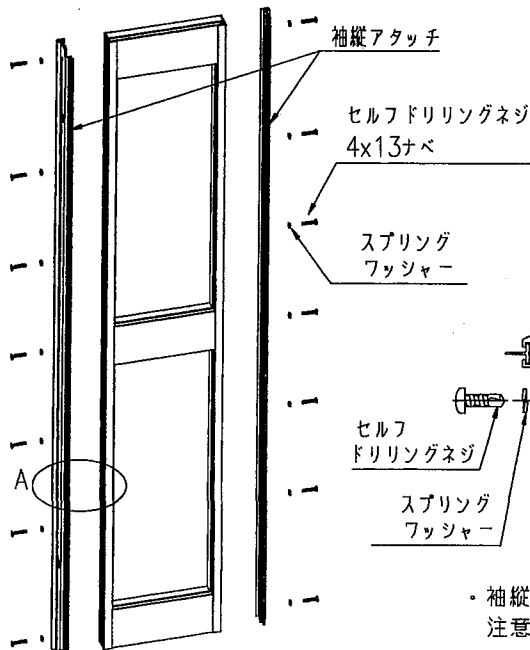
6.8mm厚の 網入りガラスを使用する
場合は、偏芯用グレチャンをご使用下さい。

※グレチャンの向きに注意して下さい。
格子とガラスを室内側に偏芯させて
下さい。

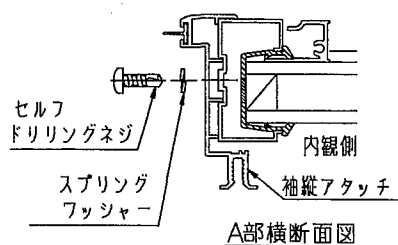


(4) 袖縦アタッチの取付

両側に袖縦アタッチをビスで固定します。
アタッチとビスの間にはワッシャーを入れてください。
※内観、外観、RLに注意して下さい。



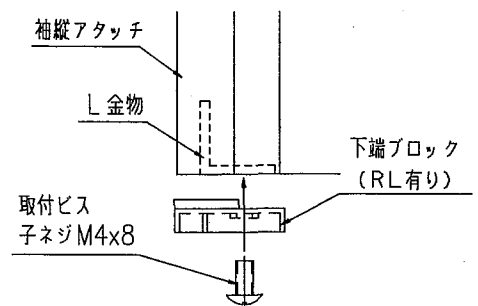
外観側



・袖縦アタッチの向きに
注意して取り付けてください。
(ビス受けがある方が内観)

(5) 下端ブロックの取付

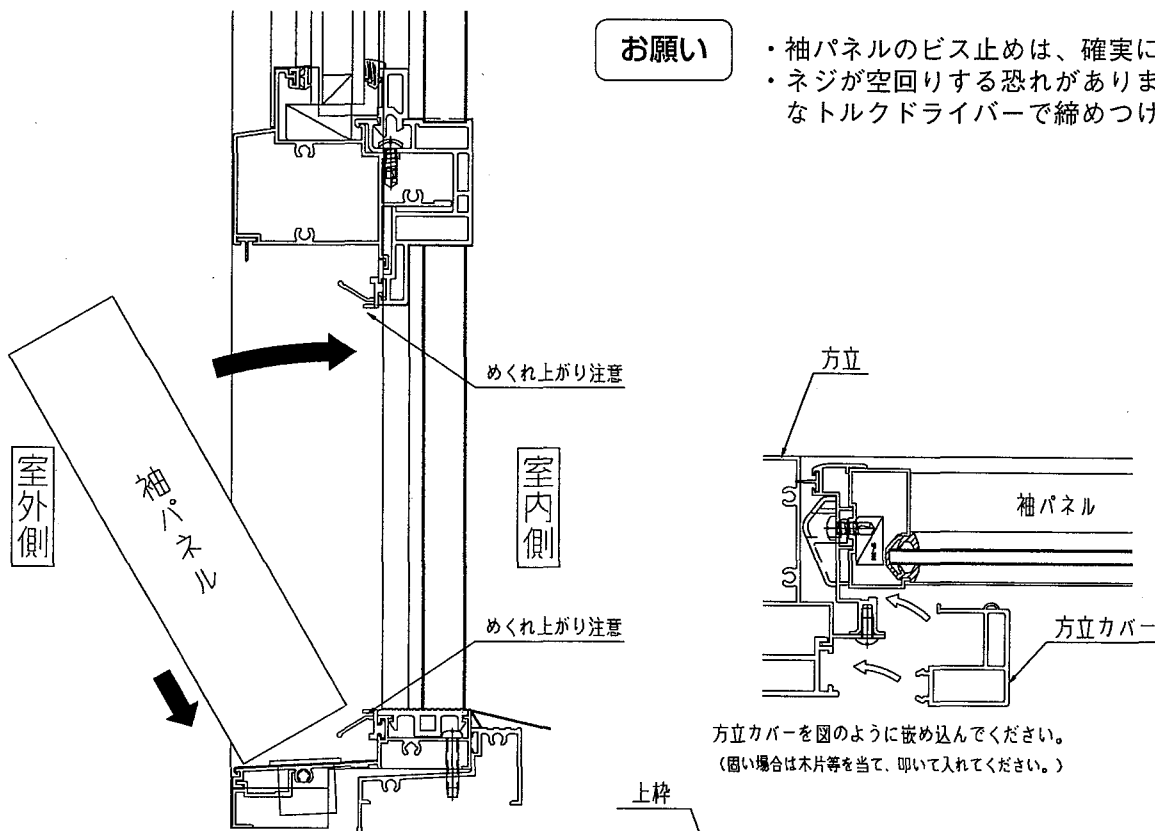
・袖縦アタッチの下端に下端ブロック(R L有り)を
取り付けして下さい。



製品の組立てと取付け

●袖パネルの建て込み

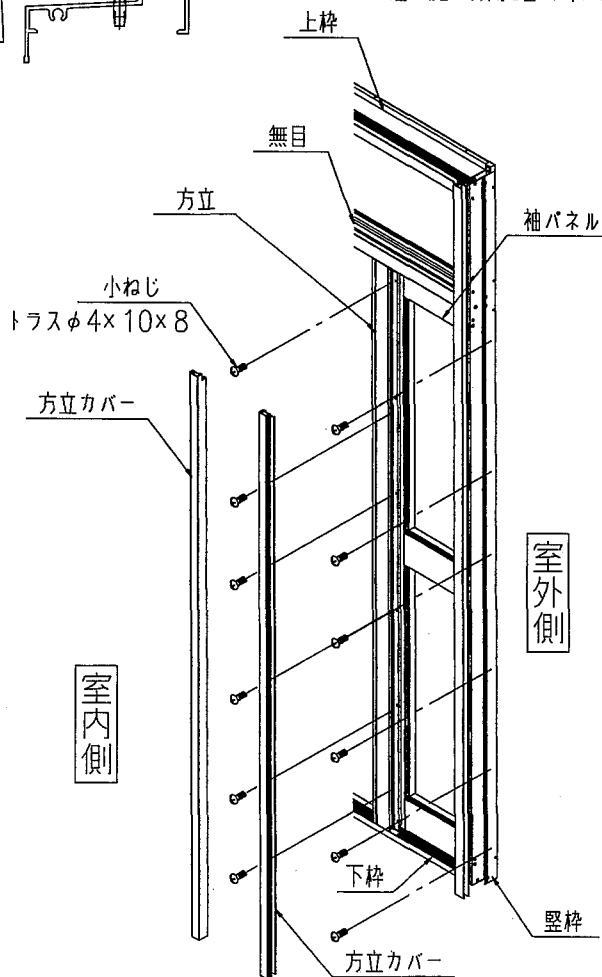
- 1) 下枠に袖パネルをのせ、上下枠タイト材がめくれ上がらないように上部を枠内に押し込んで下さい。
- 2) 建て込み後、室内側より同梱の小ねじトラスφ4×10×8にて袖パネル枠を固定し、方立カバーを嵌め込んで下さい。



お願い

- ・袖パネルのビス止めは、確実に止めて下さい。
- ・ネジが空回りする恐れがありますので、強力なトルクドライバーで締めつけないで下さい。

方立カバーを図のように嵌め込んでください。
(固い場合は木片等を当て、叩いて入れてください。)

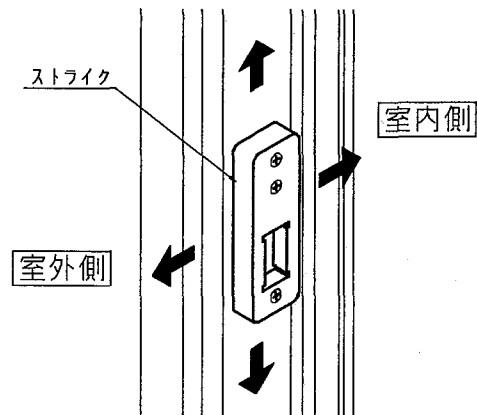


*本図はらんま付片袖(右勝手)

製品の組立てと取付け

●ストライクの調整

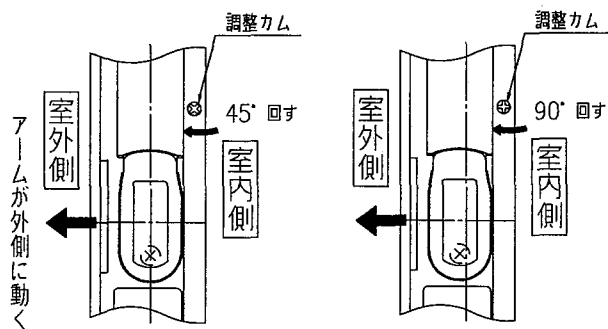
・ストライクの調整は、下図の要領で取り付けねじをゆるめ、上下前後（室内・室外側）にずらし、ドアがガタつかずラッチがスムーズにかかる位置に固定して下さい。



●ガードロックの調整

・ガードロックの調整は下図の要領で行って下さい。
・下図の調整カムを + ドライバーで
時計回りに45° 回すと 1.5mm
さらに45° 回すと 3.0mm
調整できます。

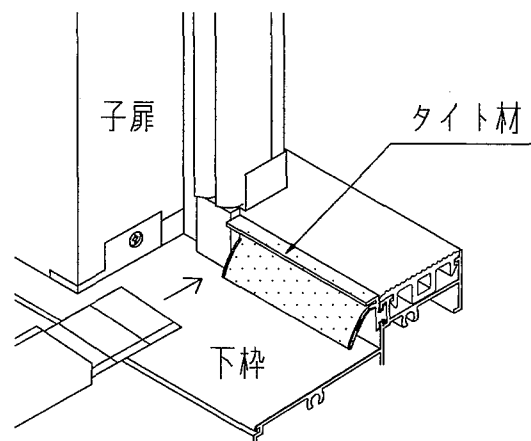
※ 調整カムを初めの位置から無理やり反時計回りへ回したり、初めの位置から90° 以上無理やり回さないで下さい。調整カムが壊れ、調整ができなくなる事があります。



本図は右勝手を示します。

●下枠タイト材の切り込み

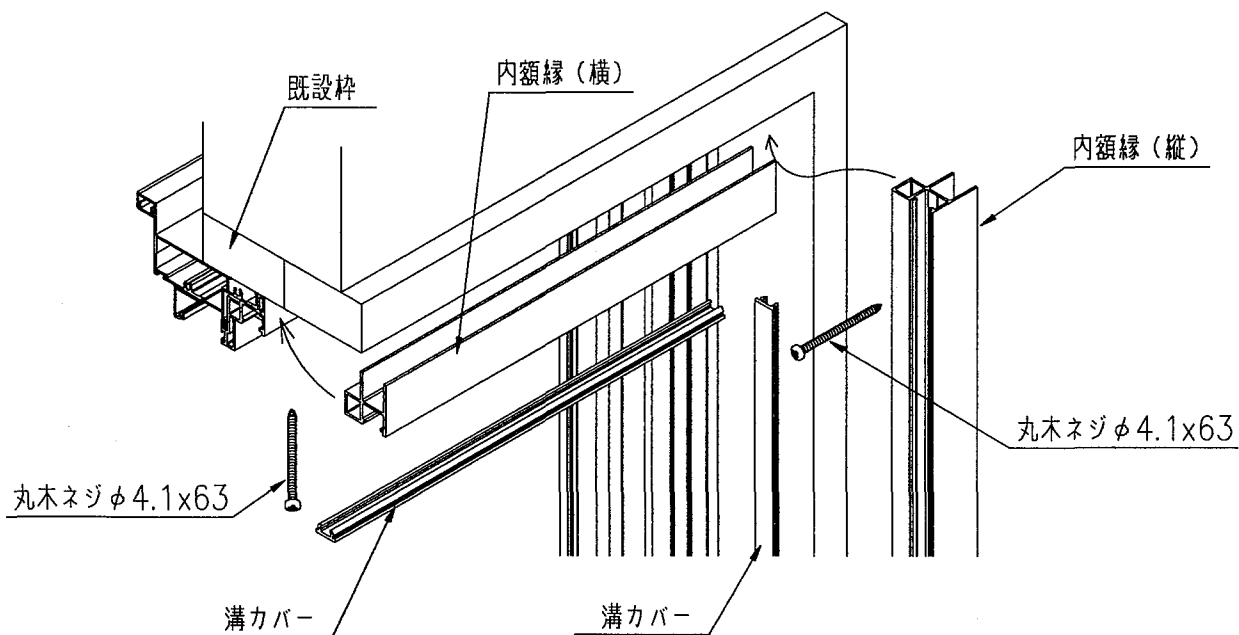
・親子タイプのドアの場合は右図のように（子扉とタイト材の重なるラインで）タイト材にカッター、ハサミ等で切れ目を入れてください。



本図は右勝手を示します。

●内額縁の取付け

- ① 現場の納まりに合わせて内額縁（縦）を切り詰めます。縦通しを基本としますので、内額縁（縦）を先に合わせてください。
- ② 既設枠が隠れるように、内額縁（縦）を木ネジで固定します。
- ③ 左右の縦材を付け終わったら内額縁（横）納まりに合わせて切断します。
- ④ 既設枠が隠れるように、木ネジで固定します。
注意 ※内額縁が変形する恐れがあるので締めすぎに注意して下さい。
- ⑤ 縦、横の溝カバーを現場合わせで切断し、木ネジ部に嵌め込みます。



製品の組立てと取付け

●外額縁小の取付け

- ① 外額縁小（横）を縦枠の外々に合わせて、両端からマイナス10mm（合計20mm）引いた寸法で切断します。
外額縁大（縦）は現場の納まりによって切詰めます。（図1）
- ② 横材を上枠にビス止めします。（図2）
両端均等になるよう注意してください。
- ③ 縦材を縦枠にビス止めします。（図3）
上端が横材の天端と合うよう調整して取り付けてください。
- ④ 外額縁に同梱されている溝カバー材を現場に合わせて切断し、嵌め込みます。

外額縁小用ビスセット

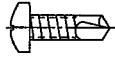
名称	姿図
外額縁（小）取付ビス セルフドリリングネジ φ4x13	

図1

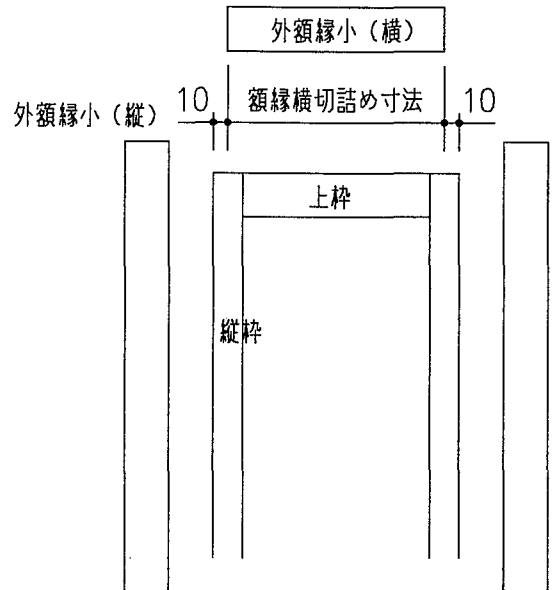


図2

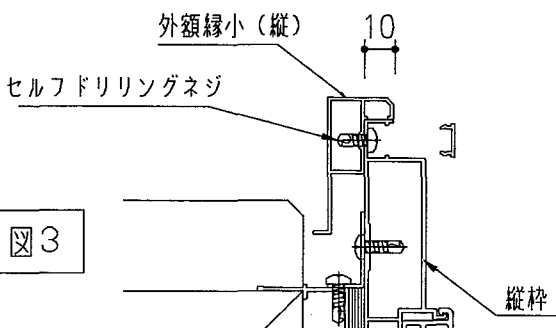
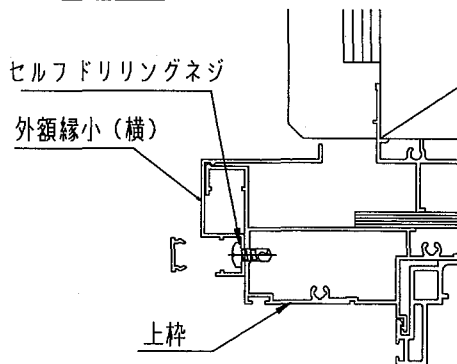


図3

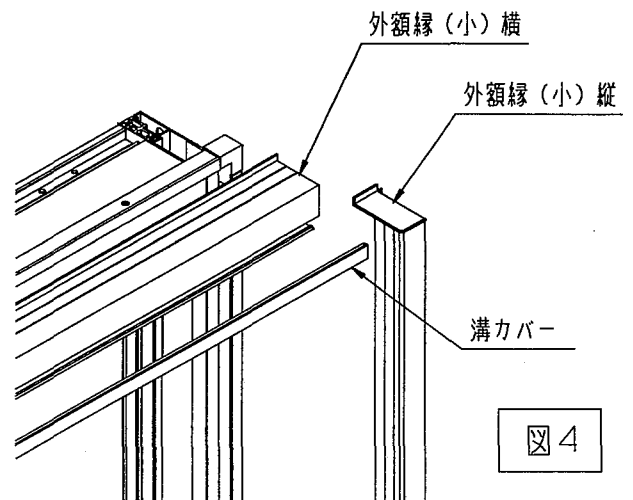


図4

●外額縁大の取付け (1)

- ① 外額縁大 (横) を上枠に合わせて切断します。
外額縁大 (縦) は現場の納まりによって切詰めます。(図1)
- ② 横材、縦材をφ4x25なベタッピンビスで組立てます。外側の孔は孔塞ぎ材を嵌め込みます。(図2)
注意 ※組み立てた後のねじれに注意してください。
変形する恐れがあります。
- ③ 外額縁取付ブラケットを縦枠にセルフドリリングネジで取り付けます。(縦枠の上中下3ヶ所)
(図4, 5)
- ④ 外額縁大 (横) の下部ギザギザ面と上枠の突起を合わせて、外壁と合わせるよう調整して上枠の上に乗せます。(図3)
- ⑤ 横材の位置が決まったら、そこから縦材の位置も決め、③で取り付けしたブラケットに嵌め込ん
でから、セルフドリリングねじで取り付けます。
(図4)

外額縁大組立用ビスセット

名称	姿図
① なベタッピン2種 φ4x25	
② 外額縁取付ビス セルフドリリングネジ φ4x13	
③ 外額縁取付ブラケット	
④ 孔塞ぎ材	

図1

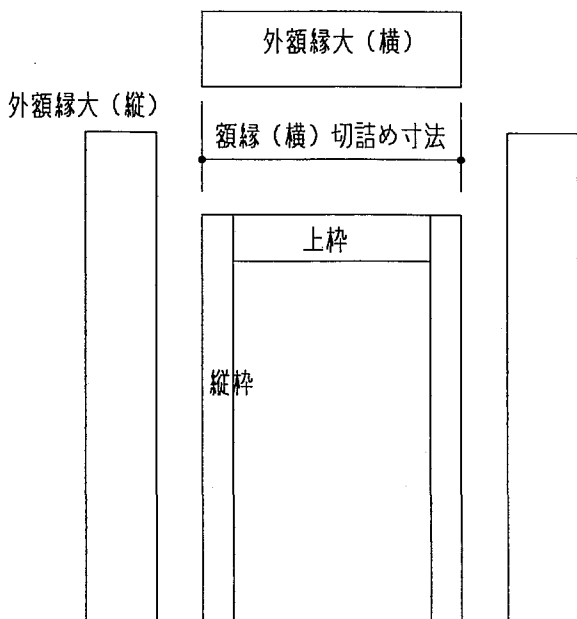
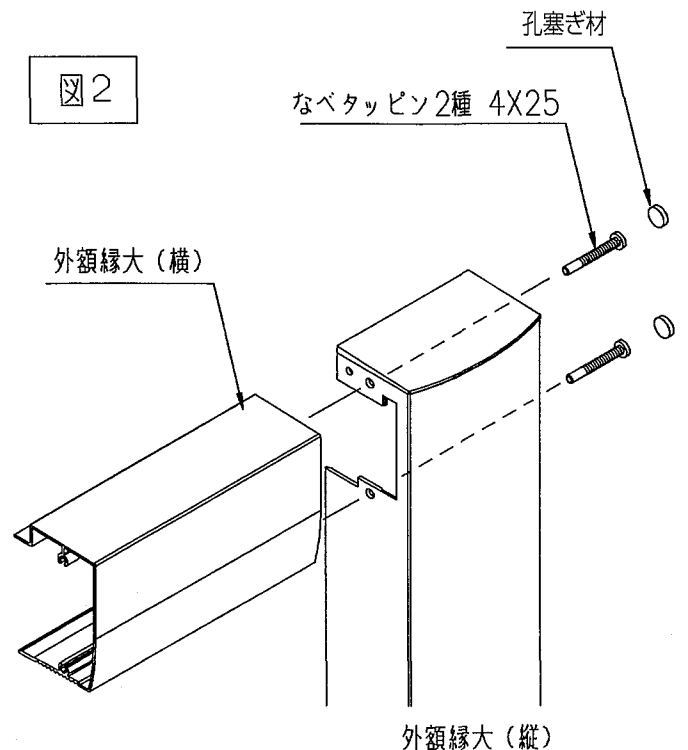


図2



製品の組立てと取付け

●外額縁大の取付け (2)

図3

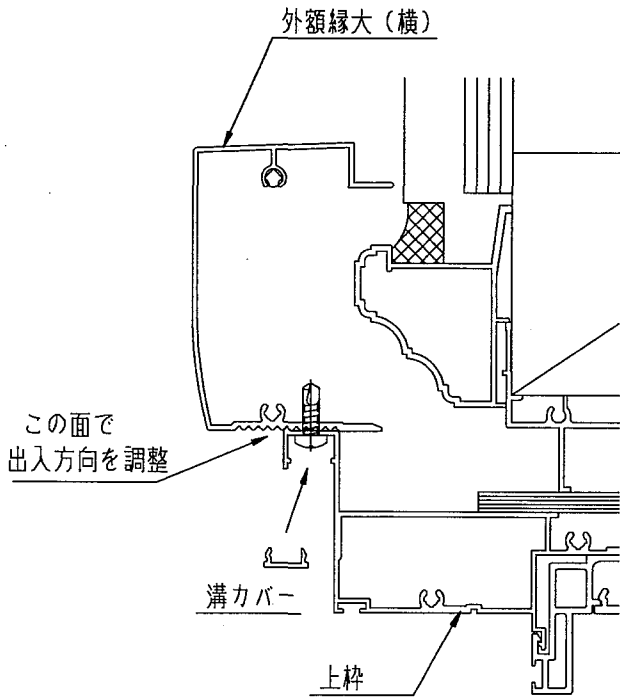


図4

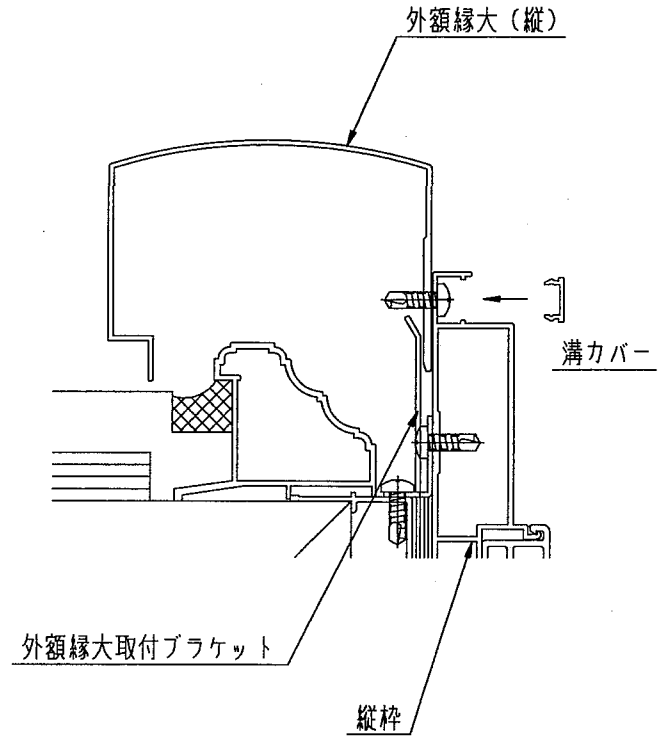
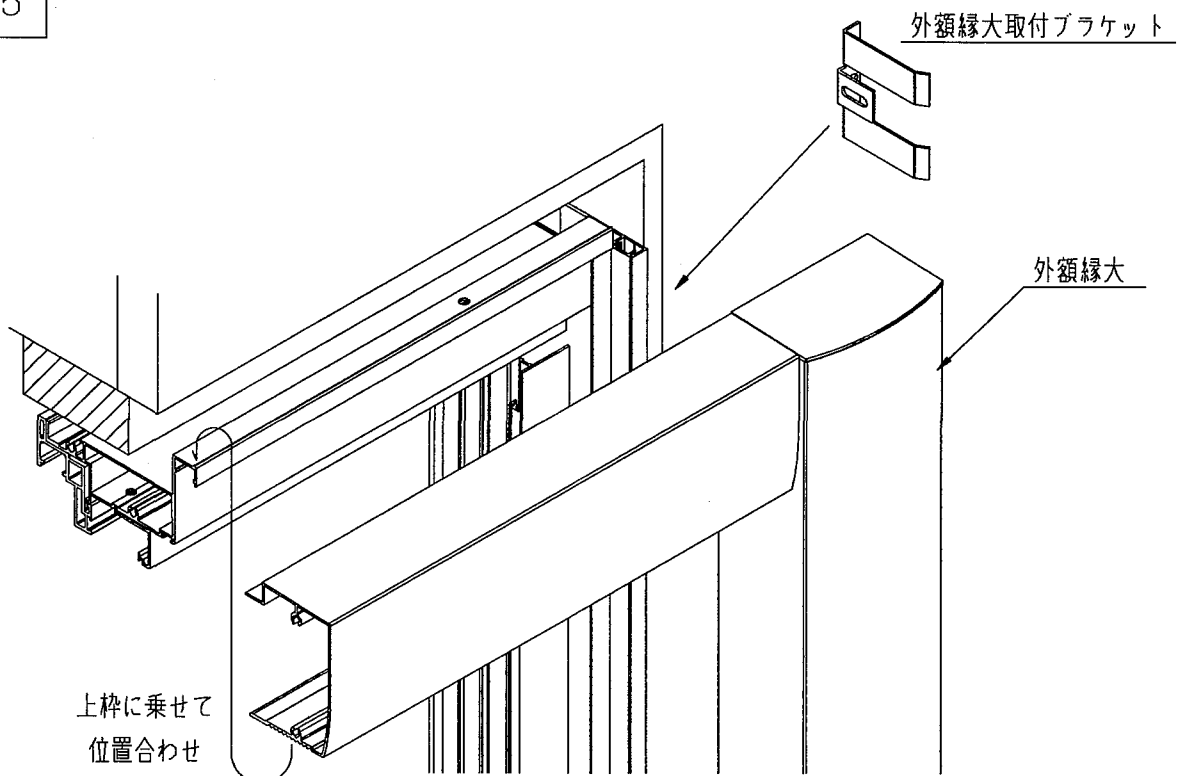


図5



●下枠補強アングルの取付け（別売部品）

お願い

この部材は下枠とポーチ面の立ち上がりが大きい納まりに使用してください。

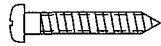

- ① 下枠アタッチを下枠と同じ長さに切り詰め、下枠に取り付けます。

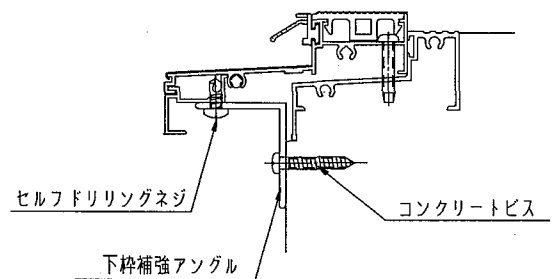
袖付枠の場合は方立を下枠に固定してから取り付けます。

親子ドアの場合、フランス落とし受けが下枠アングルとアタッチに当たりますので、あらかじめカットしてください。

- ② セルフドリリングネジでアングルを下枠に取り付けます。
- ③ 外壁面のアングル取付孔位置にドリルでφ3.4の下穴を明けます。
- ④ 下枠アングルをコンクリートビスで外壁面に締めます。

下枠補強アングル用ビスセット

名称	姿図
① コンクリートビス φ4x25	
② セルフドリリングネジ φ4x13	

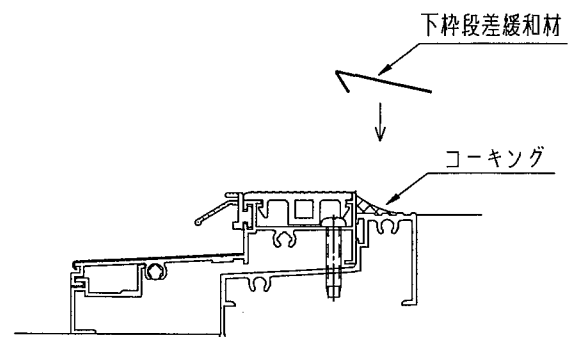


●下枠段差緩和材の取付け（別売部品）

お願い

この部材は新枠を取り付けた際、室内側土間との段差が大きい場合に使用してください。

- ① 下枠段差緩和材を現場の納まりに合わせて切り詰めます。
- ② 既設枠と下枠の段差部分にコーキングを打ちます。
※製品の露出面は必要に応じてマスキングをしてください。
- ③ 下枠段差緩和材をコーキングの上に固定します。



取付可否のチェック

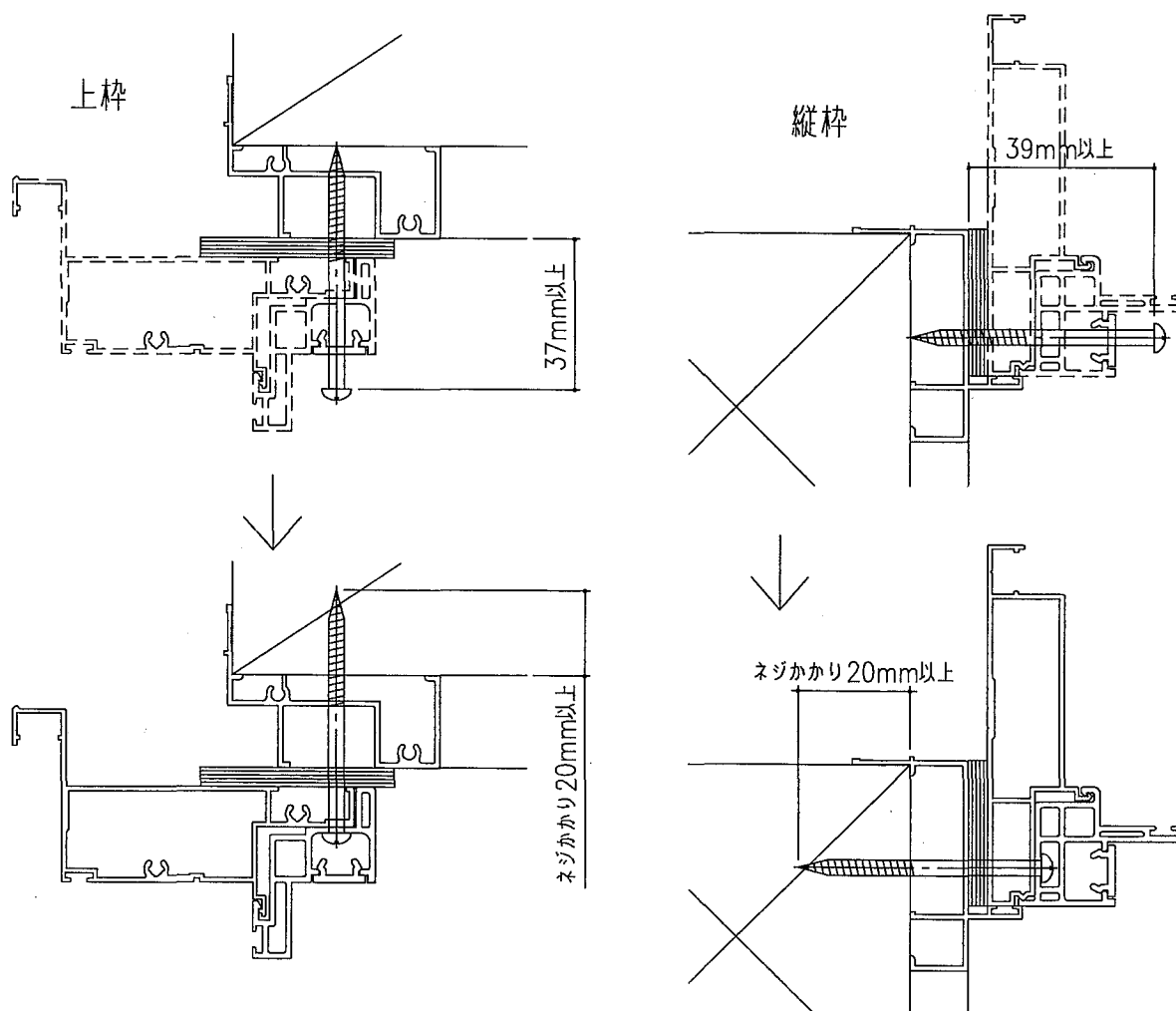
●現場チェック項目

製品を正しく取り付けていただくために、下記項目を必ず確認してください。

チェック項目	
事前に確認すること	建物の構造は木造土間納まりですか？
現場で確認すること	既設枠は内付枠ですか？（外付枠、半外付枠では取付ネジがかかりません）
	取り付ける柱の取付ネジかかり寸法は20mm以上ですか？
	取り付ける柱は腐食してませんか？
	既設枠の周りに漏水のあとはありませんか？
	既設枠の開口寸法は指定個所を測定した際、切詰め寸法範囲内ですか？
	既設枠の化粧枠大きさは条件範囲内ですか？
	壁（入隅納まり）や軒天は製品取付けに支障はありませんか？

●ネジかかり寸法の確認方法

・既設枠の図の位置にφ5の穴を明けます。φ5の穴から木ネジを差込み、取付穴からネジ頭までの寸法が上枠は37mm以上、縦枠は39mm以上あることを確認してください。



●取付け現場の採寸時確認事項

① 製品製作範囲による条件

既設枠開口部の寸法測定を行ない、製品基本寸法を測定し、製品製作範囲内であることを確認してください。

◆製品基本寸法設定

採寸箇所はP.3-1に従ってh・w寸法を測定してください。

製品基本寸法は既設開口寸法より5mm程度小さくしてください。

既設開口寸法	換算公式	製品基本寸法
h1:	H=h (小さい方)	H:
h2:		
w1:	W=w (小さい方)	W:
w2:		

◆製品製作範囲

下記は製品の特寸範囲を示します。

現場での切り詰め製作範囲は施工説明書に示します。

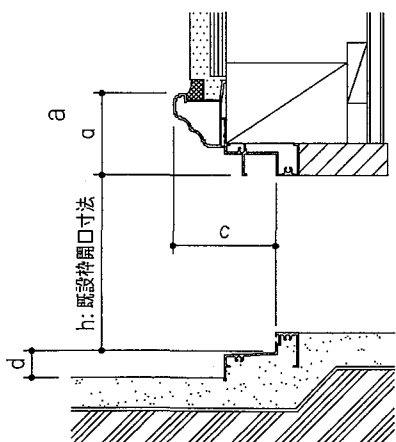
製品基本寸法	らんま付き親子	らんま無し親子
H	$2202 \leq H:2440 \leq 2600$	$1940 \leq H:2240 \leq 2340$
W	$1033 \leq W:1208 \leq 1255$	$1033 \leq W:1208 \leq 1255$

製品基本寸法	らんま付き4.5片袖	らんま付き6尺両袖
H	$2202 \leq H:2440 \leq 2600$	$2202 \leq H:2440 \leq 2600$
W	$1120 \leq W:1240 \leq 1400$	$1401 \leq W:1690 \leq 1800$

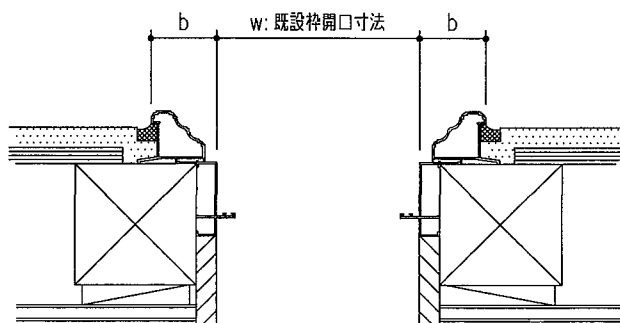
※ユビテルⅢの本体、子ドアの特寸製作限界は、規格サイズから10mmきざみの特寸になりますのでご注意ください。

② 既設枠形状による条件

	既設枠寸法による条件
a:	$a \geq 70$ のとき外額縁大が取付けできません
b:	$b \geq 62$ のとき外額縁大が取付けできません
c:	$c \geq 88$ のとき外額縁大が取付けできません
d:	$d \leq 6$ のとき新下枠にポーチが接触します



既設枠縦断面図




既設枠横断面図

③ 周辺環境による条件

軒天に外額縁が接触する、照明がドアを開けたとき接触する、入隅納まりで外額縁が壁に接触する等、現場採寸時に確認してください。

玄関用リフォームドア「スピーディ」
施工説明書

 **新日軽株式会社**

本社/〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1(ゲートシティ大崎ウエストタワー)
 お客様商品相談室 ☎0120(37)2534

新日軽インターネットホームページ <http://www.shinnikkei.co.jp>

札幌支店 ☎ 011(219)7511
 札幌営業所011(219)7525
 旭川営業所0166(55)6671
 函館営業所0138(45)6778
 苫小牧営業所0144(55)1791
 帯広営業所0155(23)1174
 札幌直需課011(219)7515

東北住宅建材支店 ☎ 022(297)3364
 青森営業所017(777)3597
 八戸営業所0178(44)6551
 秋田営業所018(863)2541
 盛岡営業所019(653)5551
 酒田営業所0234(26)2888
 山形営業所023(624)1122
 仙台営業所022(297)3364
 福島営業所0245(58)8222
 郡山営業所024(923)0811
 いわき営業所0246(21)3940
 仙台営業所石巻駐在0225(95)3501
 東北直需課022(297)4291

関東住宅建材支店 ☎ 027(328)2881
 群馬営業所027(328)2882
 宇都宮営業所028(635)6671
 新潟営業所025(283)6681
 長岡営業所0258(32)6681

関東住宅建材支店 ☎ 03(3842)7123
 東東京営業所03(3842)7127
 西東京営業所03(3842)7126
 多摩営業所042(527)2666
 さいたま営業所048(684)8777
 熊谷営業所048(524)9141
 水戸営業所029(227)3415
 千葉営業所043(247)3271
 柏営業所04(7162)3535
 横浜営業所045(641)2883
 厚木営業所046(295)8000
 東京直需課03(3842)7125
 埼玉直需課048(688)4158
 横浜直需課045(641)3381

長野支店 ☎ 026(224)2878
 長野営業所026(224)2681
 松本営業所0263(26)6345
 上田営業所0268(23)6151

静岡住宅建材支店 ☎ 054(289)6117
 静岡営業所054(289)6120
 浜松営業所053(463)7121
 沼津営業所055(923)9855
 甲府営業所055(232)1551
 静岡直需課054(289)6117

中部住宅建材支店 ☎ 052(731)1911
 北陸営業所076(238)5641
 福井営業所0776(28)6601
 名古屋営業所052(731)3281
 三河営業所0564(28)6122
 岐阜営業所058(272)2422
 三重営業所059(226)3434
 住宅建材課052(731)1308
 中部直需課052(731)1912

大阪住宅建材支店 ☎ 06(6390)1331
 大阪営業所06(6390)1308
 京滋営業所075(601)7155
 兵庫営業所078(736)1021
 南大阪営業所072(279)2700
 奈良営業所0742(49)2331
 和歌山営業所073(441)6703
 大阪直需一課06(6390)1470
 大阪直需二課06(6390)1314

中四国住宅建材支店 ☎ 082(544)4134
 広島営業所082(544)4136
 山口営業所083(973)6800
 岡山営業所086(243)1201
 山陰営業所0859(34)1351
 高松営業所087(833)5601
 松山営業所089(957)3121
 中四国直需課082(544)4141

九州支店 ☎ 092(523)7488
 福岡営業所092(523)7455
 長崎営業所095(849)1710
 熊本営業所096(366)0160
 南九州営業所099(269)9166
 宮崎営業所0985(23)3441
 大分営業所097(545)5471
 住宅建材課092(523)7488
 九州直需課092(523)8851

住宅建事業本部
 直需一部03(5759)2504
 直需二部03(5759)2506
 特需一部03(5759)2503
 特需二部03(5759)2510
 特需三部03(5759)2529
 関西特需部06(6390)1312
 中部特需部052(731)2681

エクステリア商品取扱い支店
 東日本エクステリア支店 ☎ 03(5759)2211
 名古屋東海エクステリア支店 ☎ 052(731)1920
 大阪エクステリア支店 ☎ 06(6479)3232
 中四国エクステリア支店 ☎ 082(544)4144
 九州エクステリア支店 ☎ 092(523)8890

第1版 2003年11月

- 電話番号は、移転やその他の理由で変更になる場合がありますので、ご了承ください。
- 品質向上のため予告なしに仕様を変更する場合がありますのでご了承ください。

■お問い合わせ・ご用命は



●このカタログは、大豆油
 インキを使用しています。